

		入院日(手術当日) /	手術後1日目 /	手術後2~5日目 / ~ /	退院日 /	
観察		体温・血圧・脈拍を測ります(1日1回・手術日は手術前後) 痛み、複視(物が重なってみえる)、充血、腫れ、出血(血の混じった涙)吐き気、顔の知覚麻痺など症状の観察を行います。ちょっとした変化でも医師、看護師にお知らせください。				
食事		手術が午前の場合:手術前日21時まで食事可。手術当日7時まで 飲水はできます(お茶・水・スポーツ飲料) 手術が12時(12時含む)~15時の場合:手術前日21時まで食事可 手術当日9時まで飲水はできます(お茶・水・スポーツ飲料) 手術が15時以降(15時含む):手術当日8時まで食事可 手術当日12時まで飲水はできます(お茶・水・スポーツ飲料) 手術後3時間したら看護師がお腹の音を確認後、飲水ができます その1時間後に食事ができます。(召し上がる方はご自分でご用意ください)	 普通食または治療食			
清潔		入浴はできません 化粧はあらかじめ落としましょう マニキュアはとってください、爪は短く切りましょう	入浴・シャンプーをすることができます * 下を長時間向いていると創部がうつ血するため、上向きで頭を洗いましょ (眼帯があたっている場合は介助下でのシャンプーとなります)			
排泄		手術後はトイレまで歩行ができます(最初のトイレは看護師が付き添います) トイレ以外はなるべく安静にしましょう(夜間など必要時は看護師を呼んでください)	トイレまで歩行ができます * 見えにくさがある方は注意して動きましょ			
診察		毎朝診察があります。				
処置		帰室後から術部をクーリングし、頭を高くしてください	創部の消毒、血抜きが管が入っている方は診察の様子で管を抜きます			
リハビリ			眼の見える範囲を広げる運動を始めます(追視運動)	(2日目) 眼の動きをスムーズにする運動を始めます(振り子運動)		
検査			手術の結果、合併症の有無を調べるため 眼窩調CT検査を行います 外来で眼科検査があります	(4日目)外来で眼科検査があります		
薬物療法	点滴	手術中に点滴が始まります、抗生物質の点滴を行います * 手術時間が遅い方や、糖尿病の方は手術前に点滴をすることがあります * 点滴終了後痛みや吐き気がなければ針を抜きます				
	内服薬	常用薬を看護師が確認します * 入院中の方は持参してください * 中止する薬があればお知らせします 手術後に痛み、吐き気、発熱がある場合は薬を使用できます	止血剤および腫れ止め、抗生物質、胃薬を食後に飲みましょ(3日間) (朝、看護師が渡します)			
説明指導 退院計画		看護師から手術の時間、食事についての説明があります 手術同意書の確認をします 入院診療計画書をお渡しします スリッパでは滑りやすいため、靴を履きましょ 手術は : ごろの予定です 手術室までは歩いていきます、帰りはベッドで戻ります 手術室へ行く前にトイレと着替えをすませ、両腕を洗い、歯磨きをましょ 着替える服は看護師がおもちします、ネームバンドの確認をさせていただきます 片目での生活のため注意してください(階段の使用は避けましょ、また必要時は ベッド柵を使用ましょ)	追視運動の説明をします 薬剤師から薬の説明があります (手術後1日目または2日目) 治療食の方は栄養指導がある場合もあります	(2日目)振り子運動の説明をします (3日目)看護師から退院後の生活について説明があります	次回外来について診察時説明します 診察券と次回の予約券を渡します	
目標		入院中の予定がわかり、手術後の注意事項がわかる 手術の準備ができる 手術の後、鼻をかまない、力まないことを理解できる(術前~最低1ヶ月まで) 転倒・転落なく入院生活を送ることができる (ベッドの周りを片付け、ベッドの高さは一番低くましょ) 痛みがある時は我慢せずに、痛みの部位やどんな痛みであるかを医療者へ伝えることができる (痛みの程度は数字の0から10「0:痛みなし、10:すごく痛い」で伝えましょ) 術後感染に注意することができる(傷を触らない、手洗いをし、手を清潔にする、傷が痛い時や赤く腫れている時には、医療者に伝える、処方された薬をきちんと飲む)		追視運動を行うことができる 入浴時に長時間うつむきで頭を洗ってはいけないことがわかる	振り子運動ができる 退院後の生活の注意点がわかる	